



MARUZEN CHI
Holdings

2023年1月期 第2四半期 決算説明資料

(第13期第2四半期 2022年2月1日～2022年7月31日)

2022年9月9日

丸善CHIホールディングス株式会社

1. 当社の主要事業会社

丸善CHIホールディングス株式会社 (主要事業会社)

(株)図書館流通センター

(株)図書館総合研究所

(株)図書流通

(株)岩崎書店

グローバルソリューションサービス(株)

(株)明日香

丸善雄松堂(株)

(株)第一鋼鉄工業所

(株)編集工学研究所

(株)丸善ジュンク堂書店

(株)淳久堂書店

丸善出版(株)

丸善プラネット(株)

知の生成と流通に革新をもたらす企業集団



2. 当第2四半期累計業績サマリー(連結) 前年同期比

- 当第2四半期の売上高は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の収束見込が立たない中、文教市場販売事業の教育・研究施設、図書館等の設計・施工において大型案件の完工が減少したこと、店舗・ネット販売事業において来店客数がコロナ前の水準には戻っていないことなどにより、売上高は前年同期比76.5億円の減収となった。(このうち、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等の適用による売上高の減少約42億円を含む。)
- 営業利益においても、業務効率化による経費削減に努めたが減収の影響を補うことができず、前年同期比11億円減、40.6%減、経常利益は前年同期比10億円減、39.2%減となった。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比7億円減、43.7%減となった。

当第2四半期累計 前年比較

(単位:百万円)

第2四半期(累計)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
前年同期実績	91,585	2,781	2,622	1,642
当第2四半期 累計実績	83,935	1,651	1,595	925
対前年同期 増減	---	-1,129	-1,027	-717
対前年同期 比率	---	59.4%	60.8%	56.3%
コロナ前2019年比	---	81.8%	81.7%	64.6%

売上高については、収益認識会計基準適用による影響があるため、表中では前年等との比較を記載しておりません。



3. 当第2四半期の損益ハイライト(連結)

2022年2月1日～2022年7月31日

(単位:百万円)

連 結	売 上 高				営 業 利 益			
	当期	前期	対前比	対2019 年比	当期	前期	対前比	対2019 年比
文教市場販売事業	<u>27,095</u>	32,275	---	---	<u>1,893</u>	2,404	78.8%	114.9%
店舗・ネット販売事業	<u>32,605</u>	34,873	---	---	<u>-91</u>	382	-	-%
図書館サポート事業	<u>16,646</u>	15,664	---	---	<u>1,036</u>	1,099	94.3%	93.7%
出版事業	<u>2,156</u>	2,278	---	---	<u>236</u>	172	137.6%	510.7%
その他事業	<u>5,431</u>	6,494	---	---	<u>101</u>	213	47.3%	19.4%
消去又は全社					<u>-1,526</u>	-1,490	-	-
合 計	<u>83,935</u>	91,585	---	---	<u>1,651</u>	2,781	59.4%	81.8%

売上高については、収益認識会計基準適用による影響があるため、表中では前年等との比較を記載しておりません。



4. 主要事業 文教市場販売事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	27,095	32,275	- - -
営業利益	1,893	2,404	78.8%

・(株)図書館流通センター
TRC 販社12社
・丸善雄松堂(株)

売上高については、収益認識会計基準適用による影響があるため、表中では前年との比較を記載しておりません。

- 新型コロナウイルス感染症拡大時に、大学等の設備投資計画が遅れたことで、教育・研究施設、図書館などの設計・施工において、大型案件の完工が減少したこと、また、円安により外国雑誌の予算確保のため書籍予算の執行が慎重になっている影響を受け、売上高は前期比16%の減収となった。
- なお、「収益認識会計基準」を適用した影響により、売上高は約29億円減少している。
- 営業利益も減収の影響と、学校図書館・公共図書館向け事業において先行投資を含むシステム費用が増加したことなどもあり、前期比21.2%減の減益となった。

- 学術研究や教育向けの、洋書や電子書籍を含む各種出版物、情報資料の提供
- 研究者支援ソリューションの提供
- 図書館用書籍の販売、書誌データベース(TRC MARC)の作成・販売、図書装備等の提供
- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工、大学経営コンサルティングなど各種ソリューションの提供
- 大学内売店の運営、教科書販売



4. 主要事業 店舗・ネット販売事業

(単位:百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期	対前期
売上高	32,605	34,873	- - -
営業利益	-91	382	- %

・(株)丸善ジュンク堂書店
・(株)淳久堂書店

売上高については、収益認識会計基準適用による影響があるため、表中では前年との比較を記載していません。

- 当期は、3月にまん延防止等重点措置が解除されたものの、来店客数の回復は鈍く、書籍・雑誌販売市場全体が厳しい状況であった。
- その中で、知育系雑貨の拡大など文具売場の増設、新商品の導入に取り組んだが、書籍売上の厳しさをカバーできず、当期売上高は前期比6.5%減となった。
- なお、「収益認識会計基準」を適用した影響により、売上高は約12億円減少している。
- 業務効率化の取り組みを一層進めたものの、電気代の大幅な値上がりにより経費削減効果が限定的となり、減収による影響をカバーすることができず、営業利益も4.7億円の減益となった。
- グループ全体の店舗数は、2022年7月末時点で106店舗となった(丸善・ジュンク堂以外の屋号を含む)。

- 全国に「MARUZEN」「JUNKUDO」及び「MARUZEN & JUNKUDO」の3ブランドによる店舗網で、和書、洋書、文具・雑貨等の販売



4. 主要事業 図書館サポート事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	<u>16,646</u>	15,664	- - -
営業利益	<u>1,036</u>	1,099	94.3%

・(株)図書館流通センター
・丸善雄松堂(株)

- 売上高は受託館数の伸びにより堅調に推移し前期比6.3%増となったが、サービスの向上に不可欠な優れた人材を確保するための処遇改善等で人件費が増加し前期比5.7%減の増収減益となった。
- 図書館受託館数は、期初1,697館から100館増加し、2022年7月末時点で1,797館(公共図書館576館、大学図書館233館、学校図書館他988館)となった。

- 公共図書館、大学図書館の業務(カウンター業務、目録作成、蔵書点検等)の請負
- 指定管理者制度による図書館の運営業務
- PFIによる図書館運営業務及び人材派遣



4. 主要事業 出版事業

(単位:百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期	対前期
売上高	2,156	2,278	- - -
営業利益	236	172	137.6%

・(株)図書館流通センター
 (株)岩崎書店
 ・丸善出版(株)
 丸善プラネット(株)

- 理工書等の専門書(丸善出版(株))、及び児童書(株)岩崎書店)をあわせて、新刊99点(前年同期117点)を刊行。
- 売上高は、専門書の新刊刊行の遅れにより前期比5.3%減の減収となったが、児童書分野が話題作もあり堅調に推移したこと及び原価・販管費の削減により営業利益は前期比37.6%増の増益となった。
- なお、「収益認識会計基準」を適用した影響により、売上高は1百万円増加している。

丸善出版(株)の出版事業

『理科年表』等の理工系分野中心の専門書、事典、便覧等の刊行、及びDVDの発売

(株)図書館流通センター子会社 岩崎書店

絵本・童話などの児童書、図書館向けの書籍の刊行



4. 主要事業 その他事業

(単位:百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期	対前期
売上高	5,431	6,494	- - -
営業利益	101	213	47.3%

・丸善雄松堂(株)
 (株)第一鋼鉄工業所
 (株)編集工学研究所
 ・(株)図書館流通センター
 (株)図書流通
 グローバルソリューションサービス(株)
 (株)明日香

売上高については、収益認識会計基準適用による影響があるため、表中では前年との比較を記載しておりません。

- 総合保育サービスは堅調に推移したが、店舗内装業は顧客の投資意欲が引き続き低調で前年並みの売上にとどまった。
- Apple製品やパソコンの修理等の事業において半導体不足の中、一部の部品に供給遅延が生じていることや客足の停滞の影響を受け、減収減益となった。
- なお、「収益認識会計基準」を適用した影響により、売上高は1億円減少している。

- 書店、その他小売店舗向けに、企画・設計デザイン、建設工事、内装工事、店舗什器、看板、ディスプレイ等のトータルプランニング
- PC、スマートフォン、タブレットの修理、システムサポートおよび各種周辺サービスの提供
- 総合保育サービス
- その他



5. 通期予想

- 当期は大変厳しい結果となりましたが、通期業績確保のため、文教市場販売事業においては、電子図書館システムや電子教材、タブレット用図書検索ソフトの拡販に注力し、店舗・ネット販売事業では、引き続き新規商材や新規業態の開発・導入、経費削減による収益改善に努めてまいります。
- 上記の施策を推進することで、通期業績予想については、期初予想通りとしております。なお、今後の感染拡大の状況や消費動向等により、当業績予想について修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。
- デジタル化が進む中で新たな書籍の提供・活用の方法として電子書籍を用いたデータベース事業やサブスクリプションビジネス、オンラインでの学びの場の提供などの新規事業に着手しており、2024年度中の事業化を目指しています。

(単位:百万円)

【2023年1月期通期】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する当期純利益
期初業績予想 (本年3月11日公表)	171,700	4,000	3,800	2,300
業績予想(本日時点)	上記の期初業績予想から変更なし			
(参考)前期通期実績	174,355	4,084	3,853	2,171

前年実績は、収益認識会計基準適用前の数値で記載しております。

6. 当第2四半期のトピックス

- 3月 TRC、電子図書館サービスの利用可能人口が5,000万人を突破(導入自治体数250)
- 3月 丸善出版、超ロングセラー「いかにして問題をとくか」を内容はそのままに仮名遣いや旧字体を修正しリニューアル。電子書籍でも発売
- 4月 TRC、公共団体・府省・企業等のコンサルティング業務や受託調査研究業務等を行う(株)日本政策総研を子会社化
- 4月 TRC、富士山マガジンサービスと電子雑誌読み放題サービス「TRC-DLマガジン」を正式リリース
- 5月 MY、オトバンクと連携し、全国の大学図書館にオーディオブックを提供開始
- 5月 丸善出版、World Scientific Publishing Co.と理科年表国際版「Handbook of Scientific Tables」を刊行
- 7月 MY、学会事務局の業務受託や学会誌発行の(株)エム・シー・アイを子会社化
- 7月 TRC、GIGAスクール構想対応の学校図書館とタブレット端末をつなぐシステム「TOOLi-Sタブレット版ぽけっと図書館」をリリース



MARUZEN CHI Holdings

6. 当第2四半期のトピックス

丸善ジュンク堂書店 店舗情報

出 店

- 3月 ジュンク堂書店松山三越店オープン(愛媛県、書籍・雑誌・コミック・文具・雑貨、340坪 旧店舗から移転)
- 3月 丸善豊田T-FACE店オープン(愛知県、書籍・雑誌・コミック・知育玩具・雑貨、360坪)
- 6月 EHONS UMEDAオープン(大阪府、MARUZEN & ジュンク堂書店梅田店3階、12坪)



EHONS UMEDA



丸善豊田T-FACE店



ジュンク堂書店松山三越店